

## 京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の取組について

**施策体系**

◆京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画＜本編＞P. 42より

**〔基本方針1〕 ごみの発生抑制、再使用の促進（2R）**

市民・事業者への啓発活動の推進	ごみを出さないライフスタイルの促進
	ごみを作らないビジネススタイルの促進
食品ロスの削減 【重点施策1】	食品ロス削減を促す啓発活動の推進
	市民・事業者等と連携した取組みの推進
	食品廃棄物の循環利用の促進
プラスチックごみの削減 【重点施策2】	プラスチック削減を促す啓発活動の推進
	生産・流通過程でのプラスチック削減の促進
	市の施設における率先したプラスチックの削減
リユース（再使用）の推進 【重点施策3】	市民ボランティア団体との共働によるリユース事業の充実
	リユース環境の整備
	リユース食器の利用促進

**〔基本方針2〕 分別排出・リサイクルの促進**

分別排出に関する啓発・指導の推進	分別・リサイクルに関する啓発活動の推進
	家庭系ごみの分別ルール違反への対応
	事業系ごみの分別ルール違反への対応
紙資源のリサイクルの推進 【重点施策4】	紙資源のリサイクルに関する啓発活動の推進
	雑がみの分別排出の促進
	事業系の紙資源リサイクルの促進
多様なリサイクル活動の促進	再生資源集団回収事業の活性化
	公共施設等における拠点回収の拡充
	生ごみリサイクルの推進

**〔基本方針3〕 経済的・安定的なごみ処理システムの構築**

収集・処理体制の整備・充実	可燃ごみ広域処理施設の整備
	ごみ処理施設の安全で安定的な稼働
	収集・運搬体制の整備
ごみの適正処理の推進	資源物の持ち去り対策の推進
	違法な不用品回収への対策の推進
不法投棄対策の推進	不法投棄を防止する啓発活動の展開
	不法投棄に対する監視活動の強化
ごみ処理手数料の適正化	ごみ処理手数料実態調査の実施
	ごみ処理手数料適正化の検討
災害廃棄物処理の体制整備と啓発推進	災害に備えた事前対策の推進
	業務継続計画（BCP）の実効性の確保
	災害時のごみ出しに関する周知啓発

**〔基本方針4〕 情報発信と環境教育・普及啓発**

分かりやすい情報発信による 環境意識の底上げ	多様な媒体による情報発信、啓発活動の推進
	3R意識の浸透に向けた講座やイベントの企画
環境教育・環境学習の充実	地域での環境学習の推進

地域の環境美化活動の推進	小学校を対象とした環境教育の推進
	京田辺エコパークかなびとの連携
	大学と連携した啓発活動の推進
	京田辺市すてきなまちなみ支援事業との連携
	市民団体などと連携した活動の推進

## 重点施策【リーディング・プロジェクト】

◆京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画＜本編＞P. 43からP. 45より

### 1. 食品ロスの削減

＜活動指標＞ 食品ロス率 16.0%（令和3年度）→8.2%（令和15年度）

- (1) 食品ロス削減を促す啓発活動の推進
  - 食品ロス削減について学習する講座やイベントの実施
  - 食品ロス削減ハンドブック等による周知啓発
  - 3きり運動（使いきり、食べきり、水きり）の推進等
- (2) 市民・事業者等と連携した取組みの推進
  - 京都府食べ残しゼロ推進店舗の拡大
  - フードドライブ 活動の促進
  - 災害時用備蓄食料・規格外品の有効活用等
- (3) 食品廃棄物の循環利用の促進
  - 環境活動団体と連携した家庭での堆肥化の促進等

### ○ 令和7年10月 エコ・クッキングの開催

清掃衛生課と大阪ガスネットワーク株式会社が主催となり、保護者と子を対象に食材を無駄なく使うことや、省エネ調理のコツを知ることにより、家庭での食品ロスやごみの削減を実際に料理をしながら学ぶ機会として、開催しました。

・参加者：11名（5組）



## ○【継続】フードドライブ活動

---

フードバンク京田辺及びエコパークかなびと共同で、エコパークかなび常設展示場及びキララ店において、フードドライブを展開しています。

- ・令和6年度回収量：約74kg

## 2. プラスチックごみの削減

＜活動指標＞ 家庭系プラスチック廃棄物 7%削減（令和15年度における令和3年度比）

- (1) プラスチック削減を促す啓発活動の推進
  - マイバッグ利用推奨によるレジ袋利用削減の促進
  - プラスチック容器包装の分別徹底によるリサイクルの促進
  - マイボトル普及によるペットボトル利用削減の促進
  - 詰め替え商品の利用促進等
- (2) 生産・流通過程でのプラスチック削減の促進
  - 商品包装の軽量化・簡素化の促進
  - ペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）の検討
  - プラスチック代替素材の活用の促進等
- (3) 市の施設における率先したプラスチックの削減
  - 本市が調達する物品における使い捨てプラスチックの削減
  - マイボトル、エコバッグの積極的な活用等

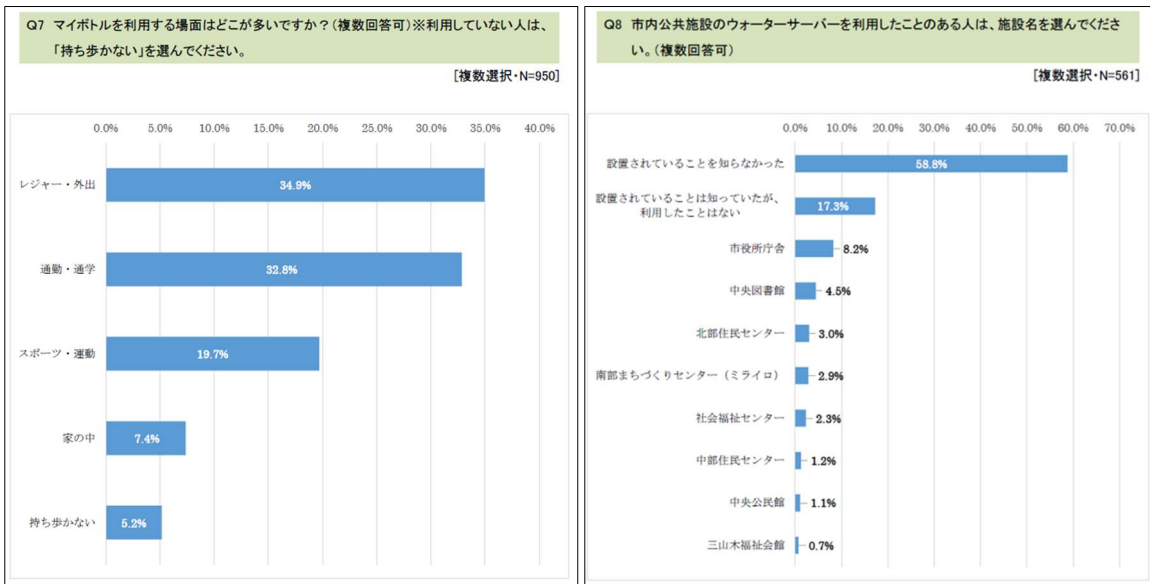
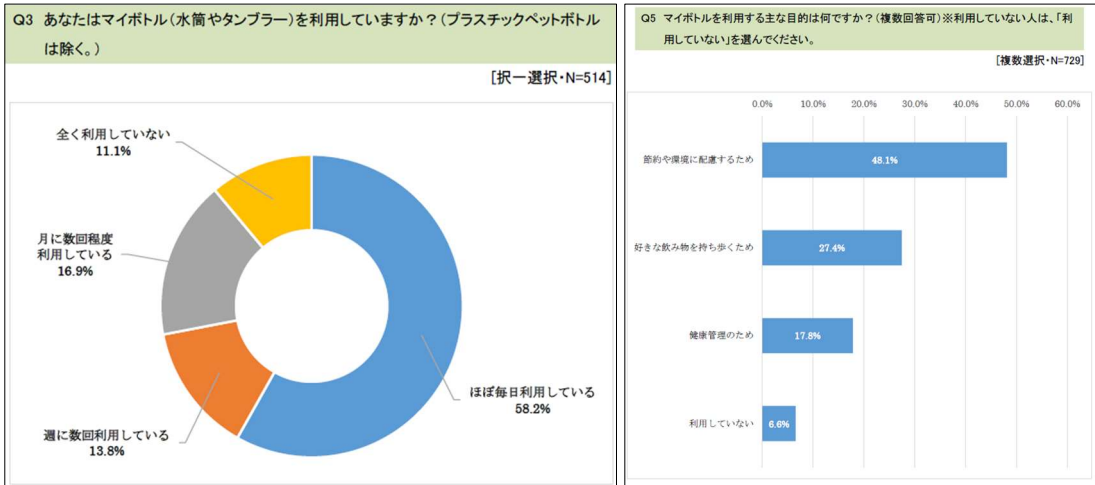
## ○ 令和7年4月から、公共施設等にマイボトル式のウォーターサーバーの設置(環境課)

---

- ・市内8施設（9箇所）に設置
- ・500mlのペットボトル換算で約54,000本分の削減と想定（令和7年6月から10月末までの給水量からの推計）



・LINE アンケートを利用した意識調査の実施結果（抜粋）



3. リユース(再使用)の推進

＜活動指標＞ 市民アンケートで日常的にリサイクル店等を利用する人の割合 11.7% (令和3年度) → 30.0% (令和15年度)

- (1) 市民ボランティア団体との共働によるリユース事業の充実
  - リユース事業の担い手の強化(メンバーの拡大・多様化、学生団体等との連携)
  - リユース事業の活性化の検討
- (2) リユース環境の整備
  - リユースに対する広報・啓発活動の推進
  - リユース普及のための取組みの検討(講習会、リユース教室等)
  - 市内におけるイベントの検討

- (3) リユース食器の利用促進  
○イベントでのリユース食器の利用啓発等

## ○【継続】 エコパークかなびの活動支援

市民まつりでは引き続き、環境フェスタ内でリユースフェアを実施。令和7年度は、環境フェスタが京田辺クロスパーク（タナクロ）に場所を移して開催となりました。あわせて、リユースフェアも京田辺クロスパークでは初開催となりました。

- ・令和7年11月2日開催 市民まつり  
環境フェスタ来場者数 1,431人



## ○京田辺クロスパーク（タナクロ）

コンセプト：農福連携をテーマに、緑と農に親しむ公園

こどもから高齢者、障がいのある人などすべての市民が交流する緑の拠点づくりをめざしている公園施設です。

## 4. 紙資源のリサイクルの推進

<活動指標> 家庭系紙ごみ 10%削減（令和15年度における令和3年度比）

- (1) 紙資源のリサイクルに関する啓発活動の推進
  - 多様な広報活動による紙資源リサイクル意識の醸成
  - 自治会や事業所における啓発活動の推進
- (2) 雑がみの分別排出の促進
  - 雑がみの種類や排出方法の周知・啓発
  - 再生資源集団回収における雑がみ回収の促進
- (3) 事業系の紙資源リサイクルの促進
  - 古紙共同回収事業の情報収集
  - 事業系古紙回収マニュアルの作成の検討

## ○【継続】再生資源集団回収事業についての周知

---

再生資源の回収事業への補助金対象に紙ごみが含まれることを申請案内時に広報しています。

- ・申請団体数：84団体（令和6年度）

## ○ その他の取組について

---

- ・リチウムイオンバッテリーの発火事故防止ための広報や回収強化  
他県では、ごみ処理施設の大規模火災が発生したり、猛暑の影響からか個人使用物の膨張・発火があったりと社会的関心が高まっていることに対応しています。

広報紙（7月号）での掲載や環境フェスタでは実際に発火したリチウムイオンバッテリーを展示して啓発を行いました。

- ・資源ごみ持ち去り防止パトロールにおいて、警察署との連携  
アルミの価格上昇の影響からか、空きカン等の資源ごみの持ち去り行為の目撃や市民からの通報が増加してきています。市パトロールの他、田辺警察署と合同で、持ち去り行為者を指導するなど対策を行っています。

- ・小学校の施設見学受入れや出前講座の実施、中学生職場体験の受入れ  
小学4年生が対象の小学校施設見学として、甘南備園焼却施設とリサイクルプラザ工場の見学を受入れ、環境学習を行いました。（市内全9校）  
また、こども園や市民有志グループへの出前講座でも、分別収集やリサイクルについての啓発活動を行いました。

その他、大住中学校の職場体験を平成30年以来の受入れを行い、収集作業とペットボトル選別業務を中学生が体験しました。

可燃ごみの処理が新施設に移行する関係により、甘南備園焼却施設の見学は令和7年度が最後となりました。リサイクル処理は引き続き甘南備園施設で行いますので、来年度以降は、新施設の見学受入れや環境教育に連携・協力していく予定です。



